

# ごみ減量啓発活動 開催報告

整理番号:20221016

イベント名	はままつEスイッチフェス「紙容器リサイクル事業啓発」
-------	----------------------------

実施内容	
活動日時	2022年10月16(日)10:00~15:00
活動場所	佐鳴台協働センター
活動者名	村河、藤田
詳細	ごみ減量取り組みとして今回は、企画運営を行っている「紙容器リサイクル」事業を紹介しました。SDGs12行動「つくる責任 つかう責任」の「つかう責任」を”自分ごと”として行動できる事業スキームの紹介です。また、本事業を今後広く啓発するための工夫などを参加者の皆さんの知恵をお聞きする場として「アンケート」を実施しました。

事業の様子と成果	<p>常駐してご案内時間 12:40~15:00 ※Eスイッチのスタンプラリー参加者は、300名。環境政策課の職員が参加者に紙容器事業の啓発のお手伝いをしてくださいました。</p> <p>配布物 啓発チラシ50枚、回収用手提げ袋50枚、ごみ減量啓発ウエットティッシュ50個</p> <p>紙容器事業について説明した方、全員にアンケート実施。回答者20名</p> <p>以下のような感想・反応があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルは、とても大切なことだと思います。協力します。</li> <li>・これから紙容器リサイクルを日本中にひろめたいと思います。</li> <li>・紙ごみを出来るだけ出さないようにする。</li> </ul> <p>★アンケート結果 回答者20名(10代 11名、30代 2名、40代 4名、50代 1名、60代 2名)</p> <p>居住区:中区18名・南区1名</p> <p>Q1.環境マークを知ってる? ①知っている 35%、②見たことがある 20%、③見たことはあるが意味は知らない 5% ④知らない 4%</p> <p>Q2-1 紙容器リサイクル事業を知ってる?</p> <p>①知ってる 65% ②知らない 25% ③今回知った 10%</p> <p>Q2-2 紙容器がリサイクル事業に協力できますか?</p> <p>①協力したい 80% ②分からない 15% ③協力できない 5%</p> <p>Q2-3 どのような広報が必要だとおもいますか?(複数回答)</p> <p>SNS 12件/イベント参加・広報はままつ掲載 各6件/新聞掲載 4件</p> <p>Q2-4 回数システムをどのようにしたら協力できますか?(複数回答)</p> <p>スーパー等の店頭回収 10名/協働センター等で回収 9名/定期的なごみ回収 6名</p> <p>Q3-1 3Rを知っていますか?</p> <p>①知っている 45% ②名前だけ 35% ③今日知った 15%</p> <p>Q3-2 家庭ごみ減量に向け今後、実践していただけることは?(複数回答)</p> <p>残さず食べる 17名/「洋服」「おもちゃ」などを譲る 10名/生ごみの水切り 9名/紙パックリサイクル 7名</p> <p>紙容器・使用済ハブラシリサイクル事業の実践は、少数意見でした。</p> <p>また、環境マークを見て正しく分別するも同様に少数意見でした。</p> <p>紙容器の回収については、どの方も関心が高かった。「何故、雑がみとして回収せず、もえるごみに出すか」を説明したら納得感が得られた。</p>
----------	---

## 記録添付

